

図書館報

第95号

令和5年3月1日発行
茨城県立境高等学校
図書委員会

「YA世代の読書」

教頭 木村 和広



二冊の本を紹介します。
一冊は二〇二二本屋大賞ノミネット作品、もう一冊は、古典的アメリカ小説です。
『夜が明ける』
西 加奈子 著

高校で友達となった男子学生二人が、大人にならな

Young Adult (ヤングアダルト)、略してYA (ワイエー) を知っていますか？アメリカで一三歳から一九歳の世代の人たちに対して使われている言葉、「若いおとな」という意味です。この世代・年代は、心の揺れ動きがもっとも激しい時期ではないでしょうか。まさに「読書がいちばん必要なとき」といえるでしょう。本を読むきっかけはいろいろです。YAの世代の生徒の皆さんであれば、先生や家族から面白いよと教えてもらうこともあるだろうし、友達から口コミで伝わってくることもあるでしょう。図書委員の人にすすめられることもあるかもしれません。一冊の本との出会いはきっと、それからの人生に大きな影響をあたえてくれることでしょう。

教頭先生おすすめの本は
境高図書館にあります！



『ライ麦畑で捕まえて』
「Dサリンジャー」著

タイトル『ライ麦畑でつかまえて』は、主人公のホールデンが、妹に別れを告げる際に「ライ麦畑に子供たちがたくさんいるんだ。僕は崖っぷちの危ないところで落ちそうになった子供たちを助ける仕事をしたかったんだ。」と夢を語ったそのセリフからとったものです。内容について簡単に説明します。

ホールデンはクリスマス直前、成績不良で名門高校を退学になった。学校の大人たちの欺瞞、生徒同士の弱肉強食で誰かを利用したり、教師に媚びたりそんな霧囲気に適応できなかった。寮を出た彼は実家に帰らずニューヨークを放浪した。

放浪生活の中で偽りに満ちた世界にうんざりし不信感がつのります。ホールデンはウソを憎み真実を愛しているつもりですがその一方で、未成年なのに酒を飲み悪い雑誌を買いに行くのにウソもつくという幼稚な矛盾を持ち合わせ、他人にウソで見栄を張るくせに他人からの虚偽を憎むのです。その後、道で子供が歌う「ライ麦畑で誰かが誰かを捕まえたなら (If a body catch a body coming through the rye.)」を聞き、利益追求の人々に辟易し生きづらさを感じ無欲に生きている人の世界の住人に自分もなりたいたいと考えます。

ホールデンは考えます「そもそも人間不信の原因は何であったか」「人間が人間に働く悪事の元凶は何だろうか」

その答えは「言葉」だと思いました。言葉があるせいで、人は人を利用し無垢に生きていることができないのだと。

YA時代にありがちな子供の頃の夢と大人の世界との衝突、そして、その境目に立つ若者のどちらにも入らない時代にも、この世界にも存在する不可避的な葛藤が一冊の中に凝縮されています。大人になるとはどういうことなのか。社会、常識って何だろう。そんなことを考えさせてくれる作品です。



図書委員会 委員長として 三年一組 関根 美月



私は二年間図書委員会に所属し、今年は図書委員長を務めさせていただきました。図書委員会の活動はやりがいがあり、二年間を通して色々な経験をすることができました。

図書委員会の主な活動は、昼休みと放課後の本の貸し出しと返却、図書館の清掃や整頓、「ふみごよみ」の発行です。

また、今年度も自分のおすすめの本を紹介するカードを作成し、掲示しました。そして、より多くの人に図書館に足を運んでもらえるよう、七夕やクリスマスにイベントを開き、皆さんが楽しめる企画を行いました。多くの方に足を運んでいただき、とても盛り上がるイベントにすることができました。ありがとうございました。

私は一年生の頃からしばしば図書館に通っていて、図書館は私にとって馴染み深い場所です。一年生の頃は、図書館を利用する生徒はほとんどおらず、静かで寂しい印象がありました。

しかし、二年生になってからは、新たに様々な取り組みやイベントが開催され、利用者がほとんどいなくなった図書館が、賑やかといえるほど多くの人が訪れる場所となり、図書館を利用してきた者としても、図書委員としても非常にうれしい限りです。

図書委員の皆さんはじめ、徳永先生や栗原先生をはじめ、図書委員の皆さんと一丸となって委員会活動をしてきたからだと思います。先生方、委員の皆さん、一年間ありがとうございました。そして、図書館を利用して下さった皆さんにも心から感謝を。

図書館は本を読んだり借りたりするだけでなく、バスの待ち時間を過ごしたり、勉強しにきたりなど、色々な人が色々な目的で来ています。これからの多くの人に図書館を利用していただけたらうれしいです。図書館のご利用、お待ちしております。

図書部長より

「生徒や先生方が使いやすい図書館を目指す」ことを徳永先生と心がけてきて二年目。一年目よりもさらに利用者が増えてきました。図書委員の生徒たちは放課後の清掃と昼休み・放課後の図書担当に来てくれます。掲示物を貼ったり、イベントの手伝いをしてくれました。

感染対策をとることで、楽しく過ごせる図書館に少しずつ近づいています。来年度はもっと普通の学校生活に戻ってほしいと感じています。

みんなで協力して活動！！



図書委員会のようす